

【技術の名称】 溶接ユニット鉄筋工法 －溶接組立鉄筋による先組工法－	性能証明番号：GBRC 性能証明 第24-15号 性能証明発効日：2024年11月25日 性能証明の有効期限：2027年11月末日
	【取得者】 西部スチール株式会社

【技術の概要】

本技術は、鉄筋を工場にてスポット溶接により結合し、設計上必要な配筋ピッチ割で鉄筋をユニット化する技術である。スポット溶接によって使用鉄筋の機械的性質が損なわれることがないように溶接条件を設定し、溶接による使用鉄筋への影響を使用鉄筋の引張試験と溶接部のせん断試験（せん断強度上限値）により確認することとしている。

【技術開発の趣旨】

本技術は、鉄筋をユニット化することで鉄筋の間隔、かぶり厚さを正確に確保でき、配筋工事の施工性改善、省力化並びに工期短縮を意図して開発するものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「溶接ユニット鉄筋工法 標準製造要領書」に従って製造された鉄筋の溶接部は、同要領書に定めるせん断強度を有するとともに、溶接された鉄筋は当該鉄筋の機械的性質に関する規格値を満足すること。

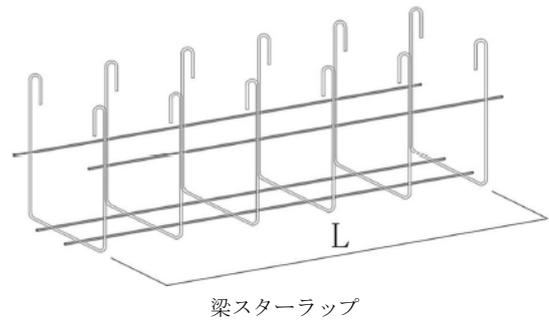
鋼種	縦筋径	横筋径	せん断強度規定値 (単位：kN)
SD295	D10	D10	14.2 以下
	D10	D13	14.2 以下
	D13	D10	
	D10	D16	14.2 以下
	D16	D10	
	D13	D13	25.4 以下
	D13	D16	25.4 以下
D16	D13		

表-1 加工可能な組み合わせ及びそのせん断強度

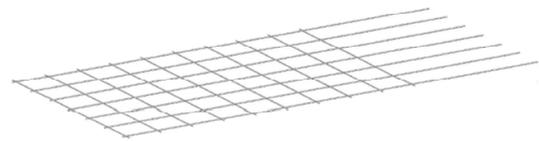
鋼種	呼び径	降伏点 (N/mm)	引張強さ (N/mm)	伸び (%)
SD295	D10・D13・D16	295 以上	440～600	16 以上

表-2 機械的性質 (JIS G3112 2020)

図-1 溶接ユニット鉄筋工法適用例



梁スターラップ



鉄筋トラス付きデッキ梁上連結筋メッシュ

【本技術の問合せ先】

西部スチール株式会社 担当者：生産管理部 三吉 久至
〒274-0811 千葉県船橋市三咲町 135-6

E-mail：h_miyoshi@seibustl.jp
TEL：047-498-9644 FAX：047-498-9646